

ヒロセ電機 2019年3月期 決算説明会

2019年3月期 決算説明会

2019年5月9日

ヒロセ電機株式会社

[6806]

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

2018年度 (2018/4 ~ 2019/3) ビジネス概況

2018年度
(4月~3月)受注高 **1,250.4** 億円
(対前年同期比 -1.3%)売上高 **1,245.9** 億円
(対前年同期比 -0.4%、対公表値比 +0.5%)営業利益 **231.6** 億円 ※利益率 **18.6%**
(対前年同期比 -17.5%、対公表値比 -3.5%)

一般産機

一般産機市場向けの売上は、一部FA関連で調整あるものの、全般的には昨年度からの高水準が継続していたが、第4四半期での落ち込みの影響もあり、年間累計では対前年比±0%の横ばいとなった。

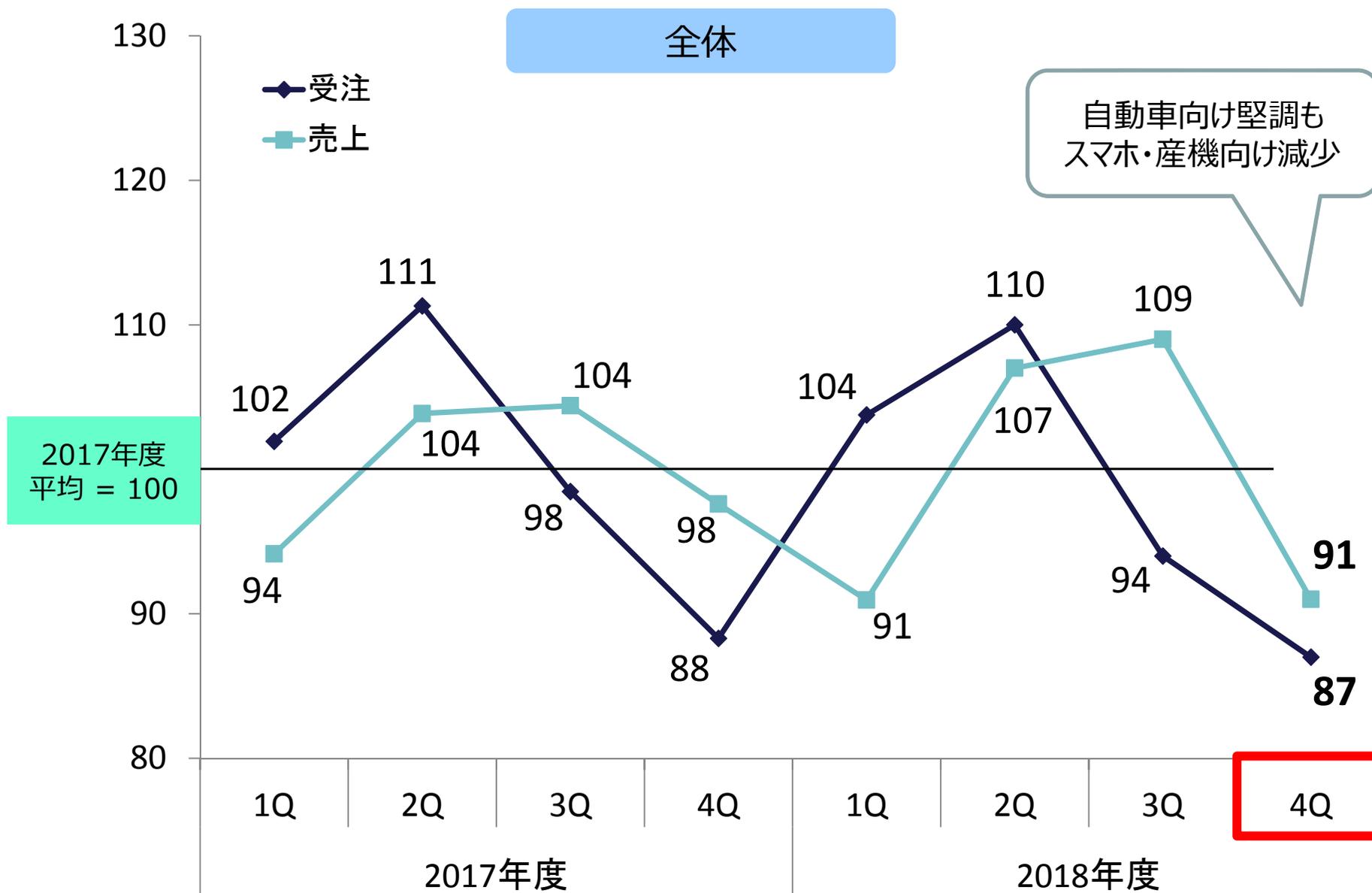
スマートフォン

スマートフォン市場向けの売上は、新機種需要により第3四半期の11月までは順調に推移したが、一部機種での在庫調整などによる減速も影響し、年間累計では対前年比マイナス9%の減少となった。

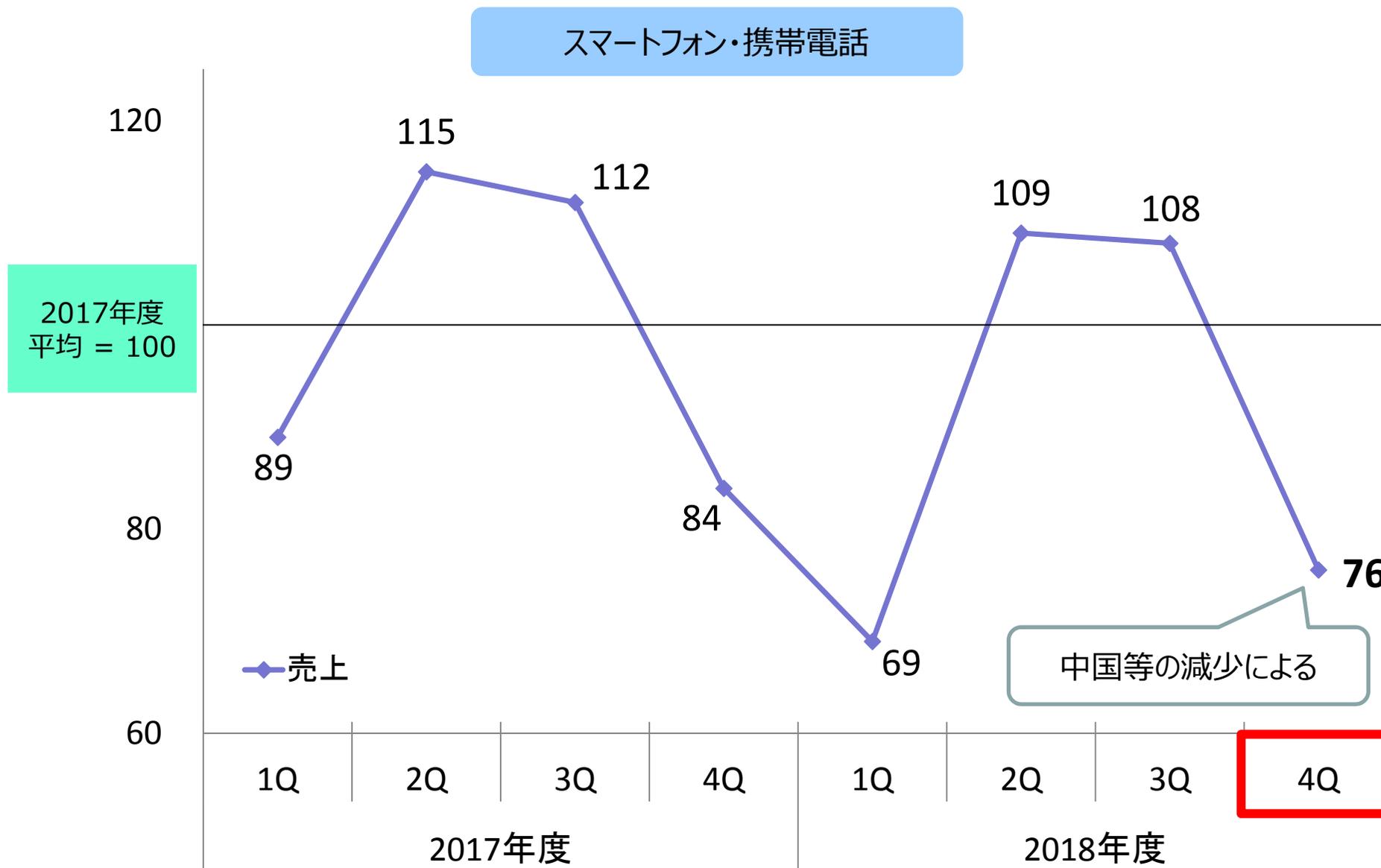
自動車

自動車市場向け売上は、順調に推移し年間累計では対前年比プラス10%の増加となった。

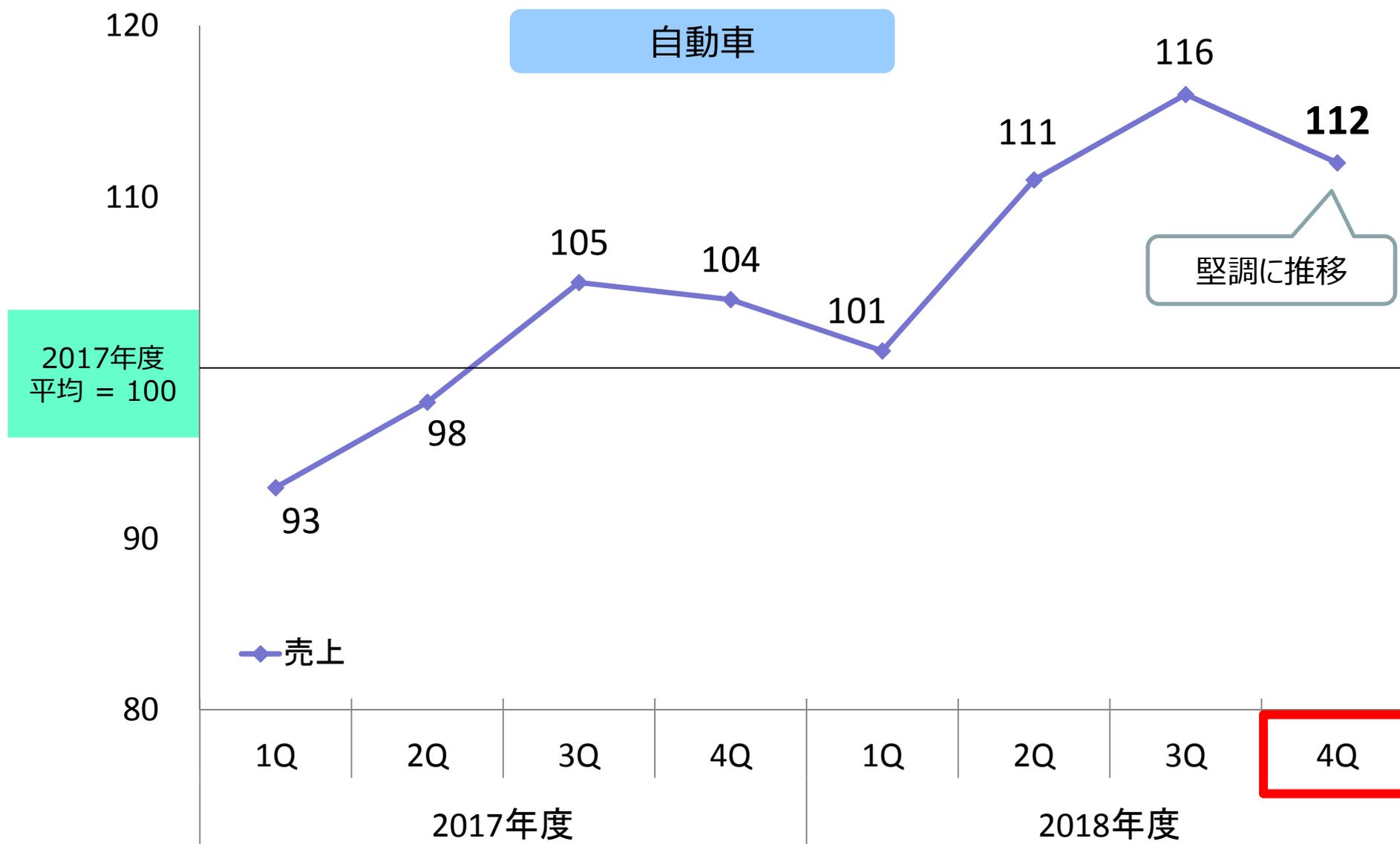
2017年度1Q~2018年度4Q 受注・売上推移 (ヒロセ連結ベース、指数表示)



2017年度1Q～2018年度4Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）



2017年度1Q～2018年度4Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）



2017年度1Q～2018年度4Q 用途別売上推移（ヒロセ連結ベース、指数表示）

一般産機（電子応用、F A制御、その他）



2018年度 連結決算概要【IFRS】

(金額単位：億円)

	2017年度 (2018/3月期)	2018年度 公表値 (2/6)	2018年度 (2019/3月期)	増減額 (対前年同期比)	増減比 (対前年同期比)
売上高	1,251.4	1,240.0	1,245.9	-5.5	-0.4%
売上原価率	53.8%	55.6%	56.2%	+2.4	
販売・管理費比率	23.3%	25.0%	24.8%	+1.5	
営業利益	280.6	240.0	231.6	-49.1	-17.5%
(%)	22.4%	19.4%	18.6%	-3.8	
税引前利益	280.2	254.0	246.7	-33.4	-11.9%
(%)	22.4%	20.5%	19.8%	-2.6	
当期利益	191.1	183.0	178.9	-12.2	-6.4%
(%)	15.3%	14.8%	14.4%	-0.9	
総資産残高	3,411.8		3,414.3		
自己資本比率	89.3%		90.0%		
1株当たり当期利益	548.80円		489.46円		

2018年度 対前年同期主要増減

(単位：億円)

■ 売上高

5.5 億円 減 (1,251.4億円 → 1,245.9億円)

ヒロセ単体 : + 10.2 億円
子会社 : - 15.7 億円

■ 売上原価率

2.4 ポイント悪化 (53.8% → 56.2%)

仕入原価費率 : 37.8% → **38.8%**
減価償却費率 : 7.0% → **8.7%**

■ 販売・管理費比率

1.5 ポイント悪化 (23.3% → 24.8%)

292億円 → 309億円 (17億円 増加)
(発送費、減価償却費等の増加)

■ 金融収益・費用

15.6 億円 良化 (-0.5億円 → +15.1億円)

為替差損益 : **-9.5 億円** → **+4.0 億円**

2018年度 対前年同期 変動分析

(単位:億円)

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
2017年度実績	1,251.4	280.6	22.4%	280.1	22.4%
為替影響	-3.9	-1.7		11.9	
減価償却費増		-22.4		-22.4	
人件費増		-7.6		-7.6	
発送費増		-5.0		-5.0	
業務委託費保守料増		-4.9		-4.9	
物量減他	-1.7	-7.4		-5.4	
変動額計	-5.5	-49.1		-33.4	
2018年度実績	1,245.9	231.6	18.6%	246.7	19.8%

2018年度 為替影響

	2017年度 累計	2018年度 累計
為替レート：US\$	110.85円	110.91円
為替レート：€	129.70円	128.41円
為替レート：100ウォン	10.00円	9.98円



(単位：億円)

対前年同期為替影響額	
売上高	-3.9
営業利益	-1.7
税引前利益	+11.9

連結貸借対照表主要増減

(億円)

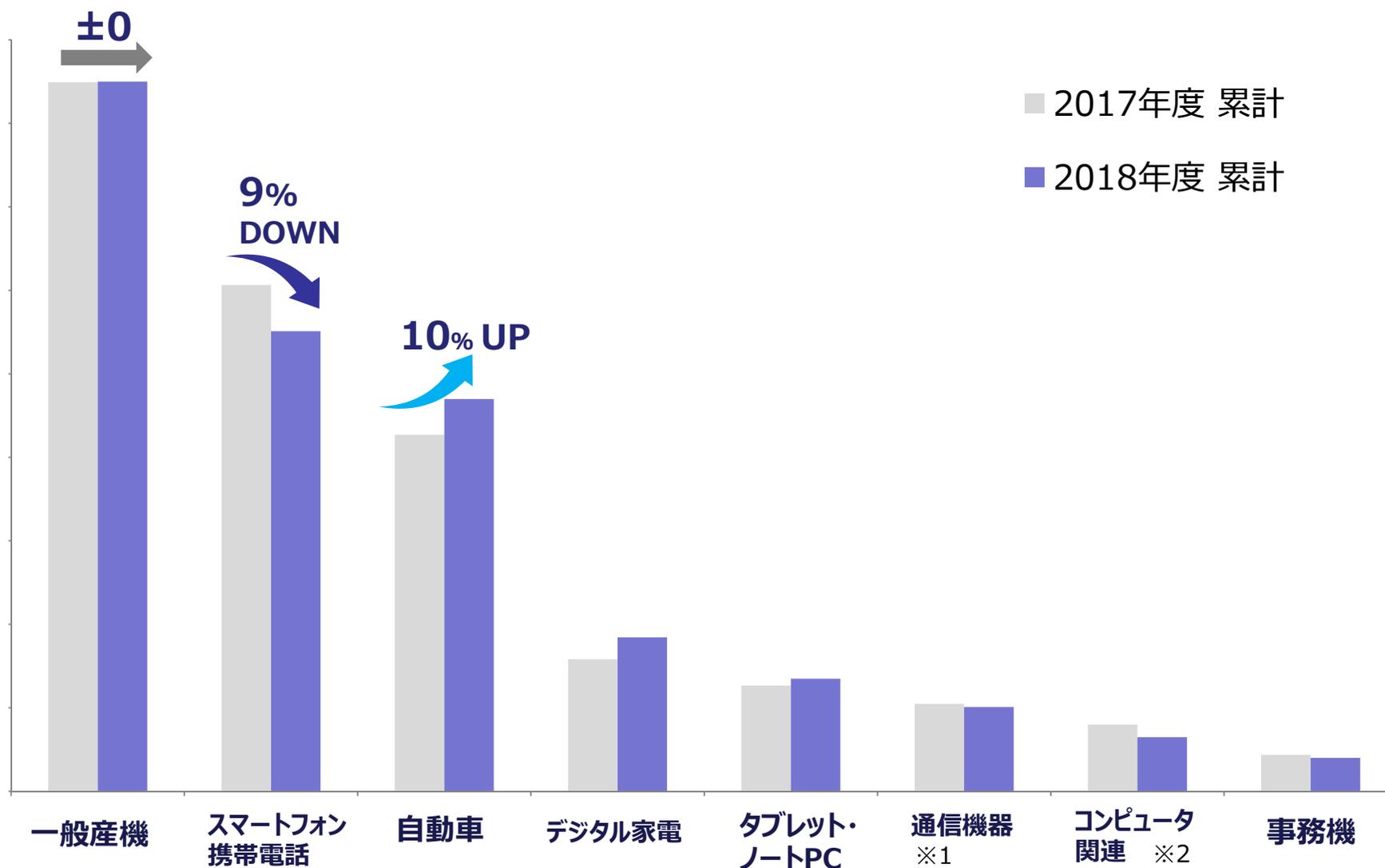
区分	科目	2018/3末	2019/3末	増減額	備考
資	現金及び 現金同等物	694.0	523.2	-170.7	配当金、法人税の支払い他
	営業債権及び その他の債権	315.0	295.4	-19.6	
	棚卸資産	121.9	139.4	17.4	
産	その他金融資産	1,629.8	1,728.9	99.1	社債購入による増（国内、コリア）
	有形固定資産	562.0	627.4	65.4	宮古（機械・建物構築物）、 本社（金型等・建仮）
	その他	89.1	100.0	10.9	
合 計		3,411.8	3,414.9	2.5	
現預金合計		1,866.4	1,727.6	-138.8	

連結貸借対照表主要増減

(億円)

区分	科目	2018/3末	2019/3末	増減額	備考
負 債	支払債務及び その他の債務	195.3	193.1	-2.2	
	未払法人税	49.5	30.9	-18.6	
	その他	119.8	117.1	-2.8	
		364.6	341.0	-23.6	
純 資 産	資本金及び 資本剰余金	210.8	207.2	-3.6	
	利益剰余金	3,345.1	3,033.5	-311.6	当期利益 178.3 億円 - 配当 127.5 億円 - 自己株無償・消却 363.0
	自己株式	- 583.2	- 232.1	351.1	株式無償割当+196.7、自己株式消却 +170.0、自己株式取得 △15.7
	その他	74.5	64.8	-9.7	
	合 計	3,047.2	3,073.3	26.1	
	負債及び純資産合計	3,411.8	3,414.3	2.5	

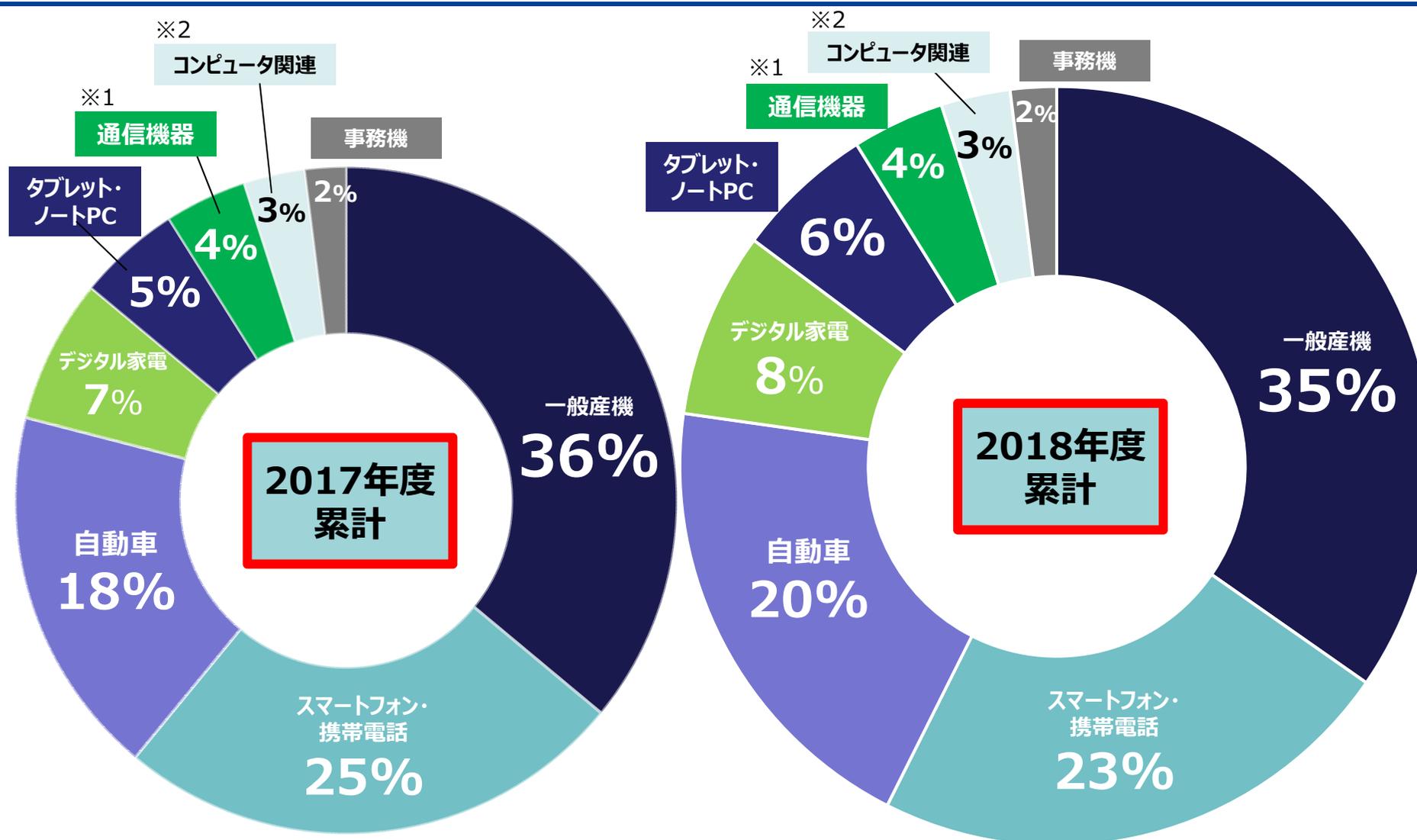
コネクタ用途別売上 前年比較（概数）【連結ベース】



用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性
があることをご承知願います。

※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器
※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

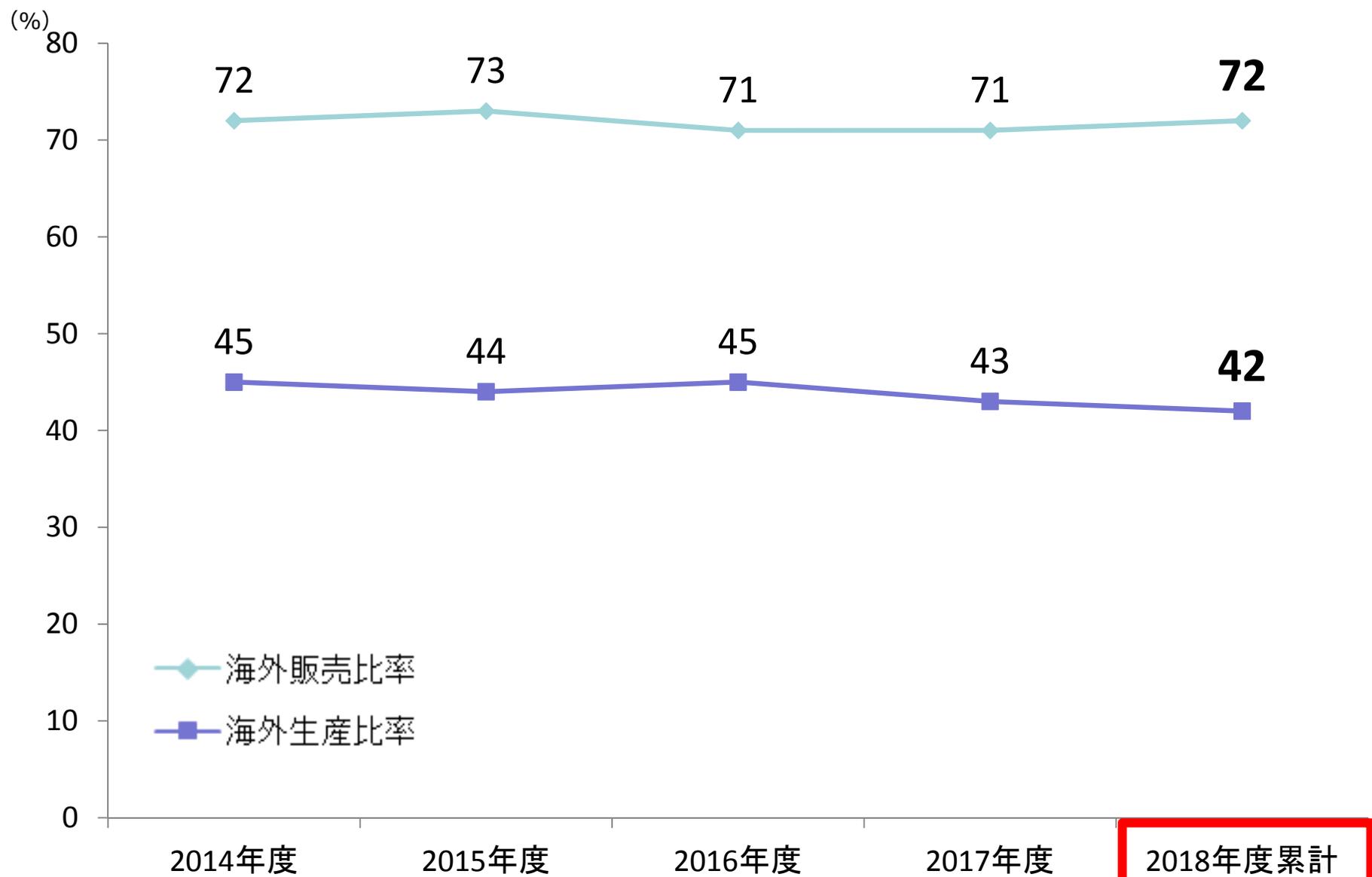
コネクタ用途別売上構成比（概数）【連結ベース】



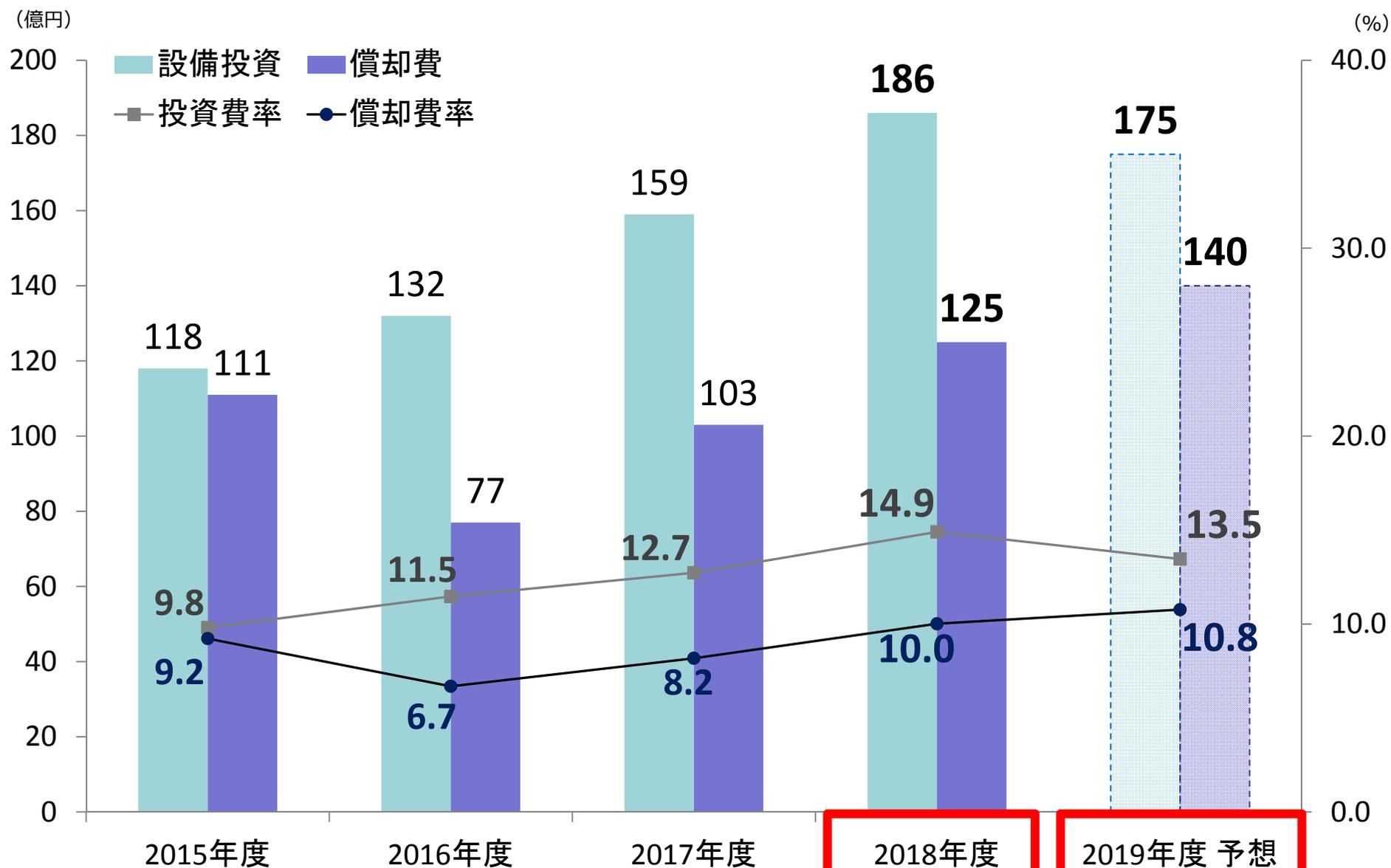
用途別構成比は概数により実際との誤差の可能性
があることをご承知願います。

※1通信機器・・・スマートフォン・携帯電話を除く通信機器
※2コンピュータ関連・・・タブレット・ノートPCを除くコンピュータ関連機器

海外生産比率・海外販売比率 推移

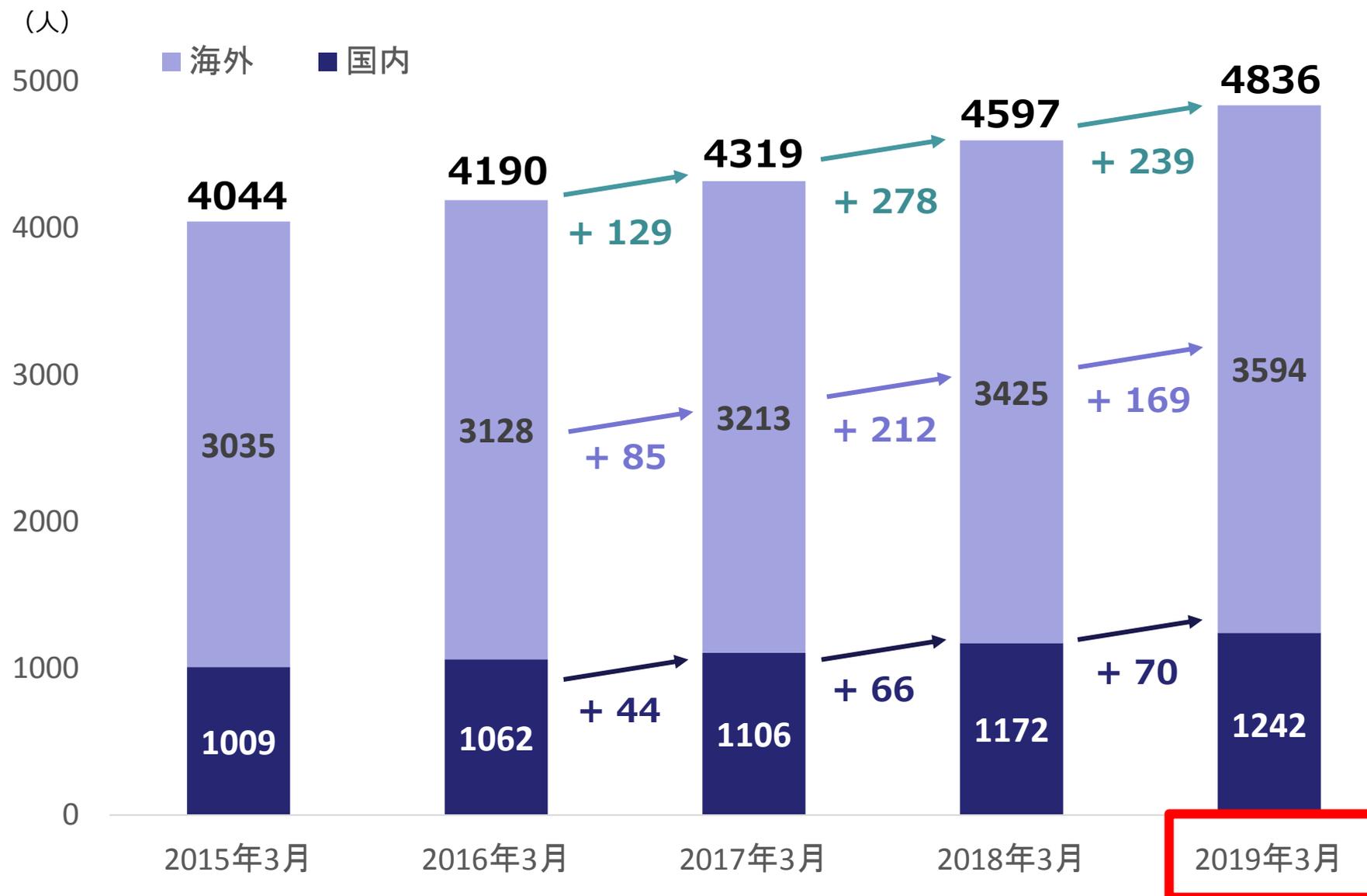


設備投資・償却費 推移 (連結ベース)

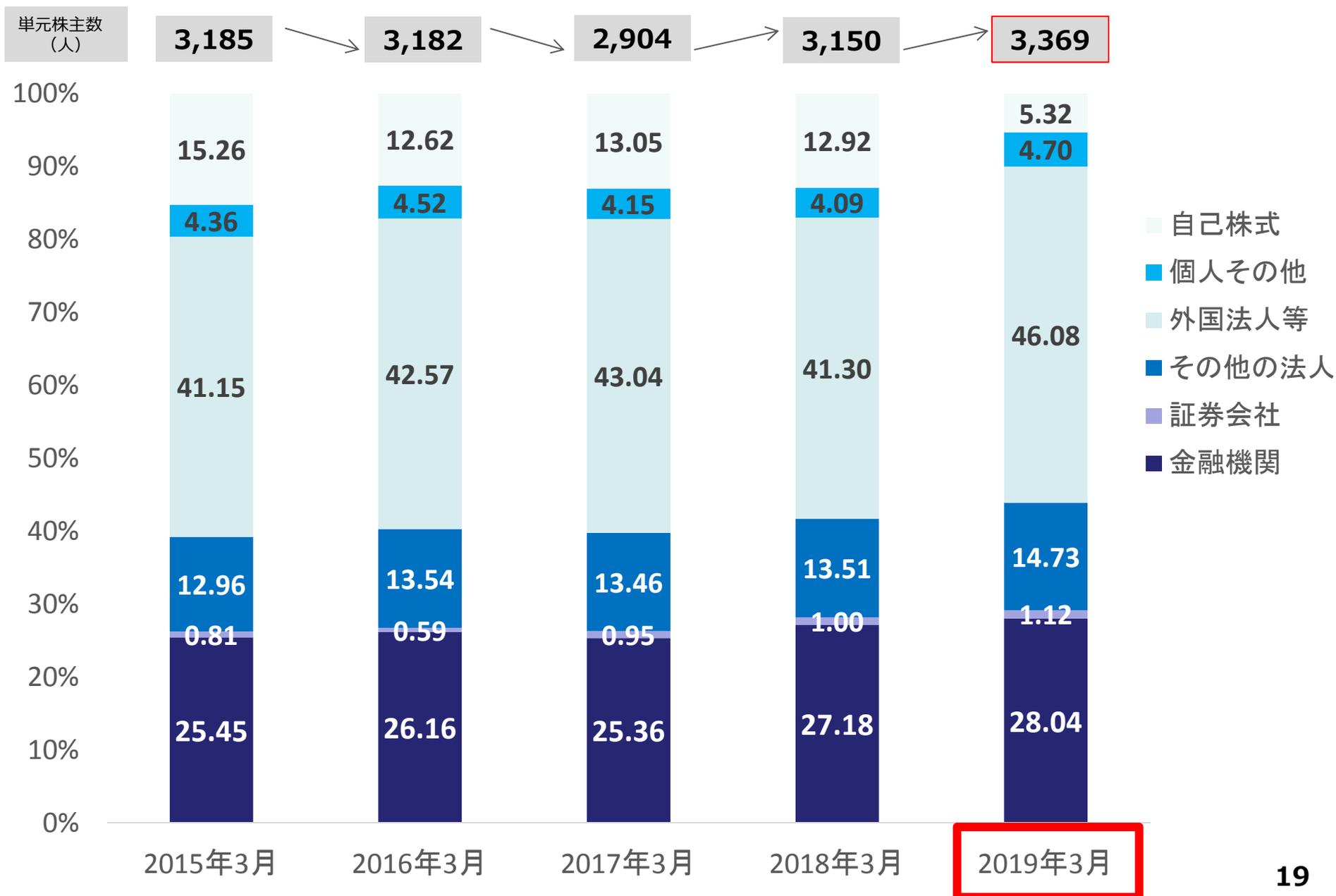


(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

従業員数 推移 (有報ベース)



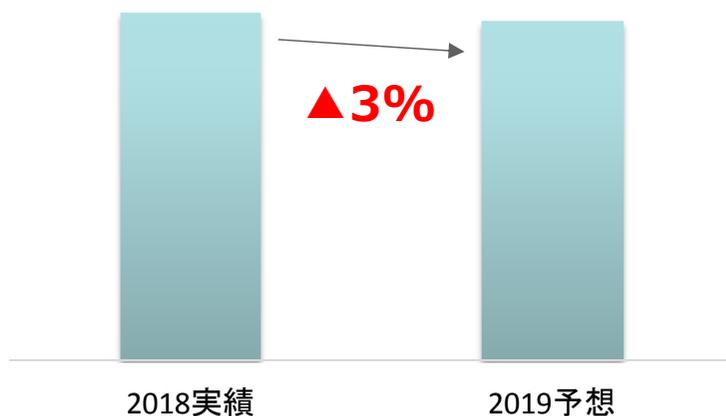
株式分布推移



2019年度 分野別 動向（予想）

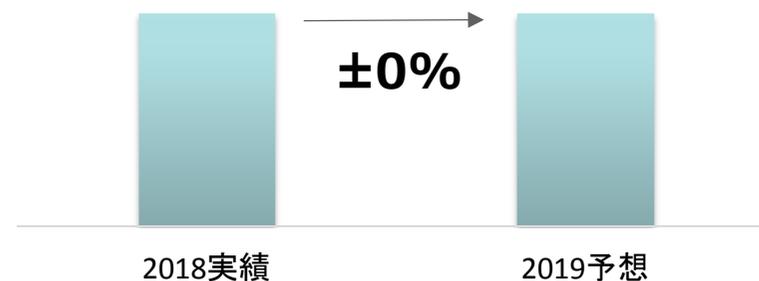
自動車向けの伸長を見込む

一般産機



2019年度下期より前年比プラスを見込む

スマートフォン・携帯電話



スマホ高機能（5G）による需要継続

自動車

EV化や自動運転等、
ニーズの対応力を
さらに強化

2020年3月期 業績予想（連結）【IFRS】

（金額単位：億円）

	2018年度（2019/3月期） 実績		2019年度（2020/3月期） 予想		第2四半期累計 対前年実績		通期 対前年実績	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	619.6	1,245.9	620.0	1,300.0	0.4	0.1	54.1	4.3
売上原価率	55.6%	56.2%	55.6%	55.4%				
営業利益	120.2	231.6	110.0	250.0	-10.2	-8.5	18.4	8.0
(%)	19.4%	18.6%	17.7%	19.2%				
税前利益	130.4	246.7	115.0	260.0	-15.4	-11.8	13.3	5.4
(%)	21.0%	19.8%	18.5%	20.0%				
当期利益	93.2	178.9	80.0	185.0	-13.2	-14.2	6.1	3.4
(%)	15.0%	14.4%	12.9%	14.2%				
一株当り当期利益	—	489.46円	—	507.37円				
一株当り配当	120円	240円	120円	240円				
連結配当性向	—	49.0%	—	47.3%				

為替レート	2018年度実績	2019年度予想 (今回)
1US\$	110.91円	110.00円
1€	128.41円	125.00円
100ウォン	9.98円	9.80円

役員人事について（異動予定日：2019年6月27日）

取締役

代表取締役社長		石井 和徳（再任）
専務取締役	技術本部長 兼 製作本部管掌	中村 充男（昇任）
取締役	製作本部長	桐谷 幸雄（再任）
取締役	技術本部 副本部長 兼 自動車事業部長	岡野 広明（再任）
取締役	管理本部長	福本 広志（新任）
取締役	営業本部長 兼 海外事業部長	佐藤 博志（新任）
取締役	ヒロセコリア株式会社 代表理事社長	イ サンヨ 李 相燁（再任）
社外取締役		堀田 健介（再任）
社外取締役		元永 徹司（再任）

監査役

常勤監査役		千葉 良一
社外監査役		杉島 光一
社外監査役		三浦 健太郎

株主還元とROEについて

1. これまでの株主還元実績について

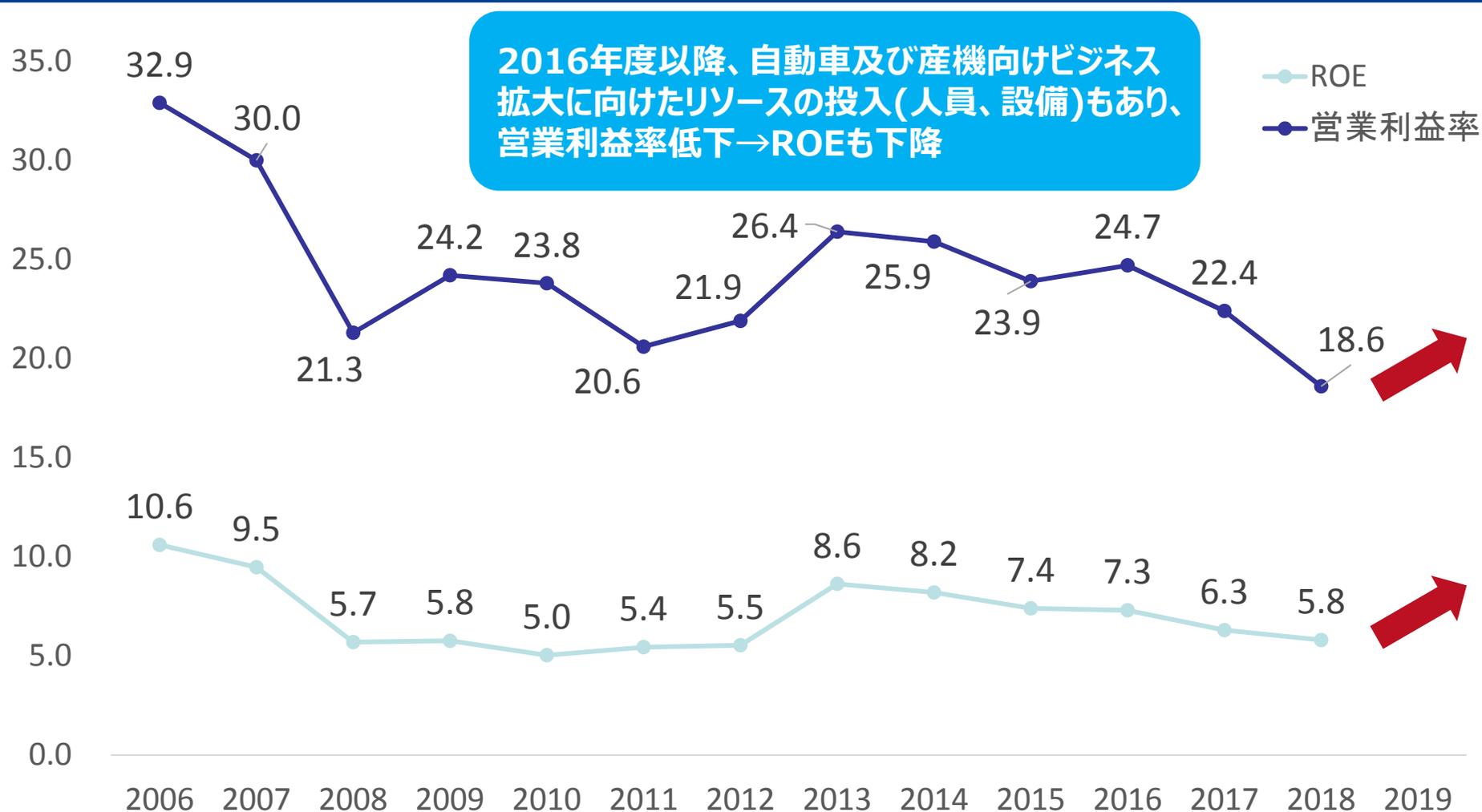
- (1) 配当性向 : 2008年度より30%以上を継続。
- (2) 自社株買い : 特に巨額（100億円レベル）の自社株買いを、2007、2008、2009、2015年度に実施。
- (3) 特別配当 : 創業80周年を記念し、2017年度に実施。（一株当たり配当 480円）
- (4) 株式無償割当 : 2015、2018年度には、1:0.05の株式無償割当を実施。
- (5) 自己株式の消却 : 5%を超える自己株式の消却実施を公表(2018年1月)。

2016年4月には、(1)配当性向 40%程度 (2)株主総還元率を累計で62.5%以上を、今後5年間の方針とすることを公表。

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
一株当たり配当(円)	100円	125円	160円	130円	120円	150円	130円	140円	200円	230円	240円	240円	480円	240円
配当性向 (%) (配当金/当期純利益)	17%	20%	27%	37%	33%	45%	36%	36%	31%	34%	40%	39%	88%	49%
株主総還元率 (%) ([配当金+自社株買い金額] /当期純利益)	43%	20%	93%	111%	108%	69%	77%	42%	61%	47%	86%	52%	88%	58%

“株主還元”は重要な経営課題の1つとして対応してきた。
株主・機関投資家の皆様からは、一定の評価を頂いているものと感じている。

2. 営業利益率とROEの推移



2019年度以降 営業利益率の改善 → ROEの向上を図る

3. 今後の株主還元について

2019年度
の最優先
課題

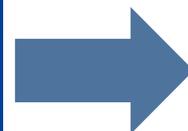
収益性（営業利益率）の改善

2019年度は、上記最優先課題と従来からの株主還元策を並行して実行する。

株主還元策

配当性向 40%の維持、自社株買い・自己株式消却の継続的な実施

2019年度中に、今後のフリーキャッシュフローの見通し、及びM&A、設備投資、自社株買い等の資金需要を見極めたい。



左記状況が明らかになった上で、2020年5月を目処に、次の中期的な株主還元の方向性を公表したい。

HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

ヒロセ電機 2019年3月期 決算説明会

“2019”中長期成長戦略について

2019年5月9日

ヒロセ電機株式会社

代表取締役社長
石井 和徳

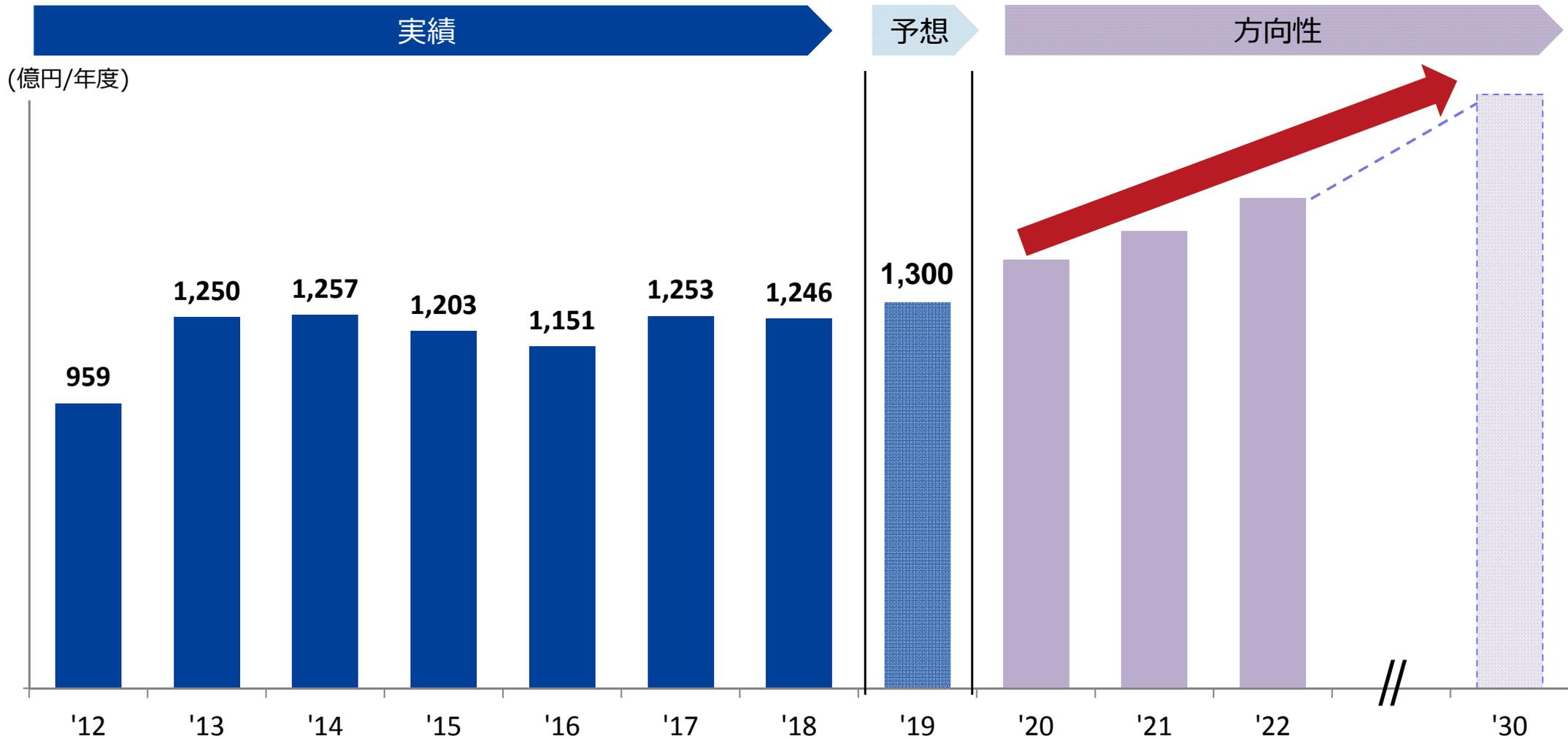
注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

HRS : 成長イメージ 〈再掲+〉

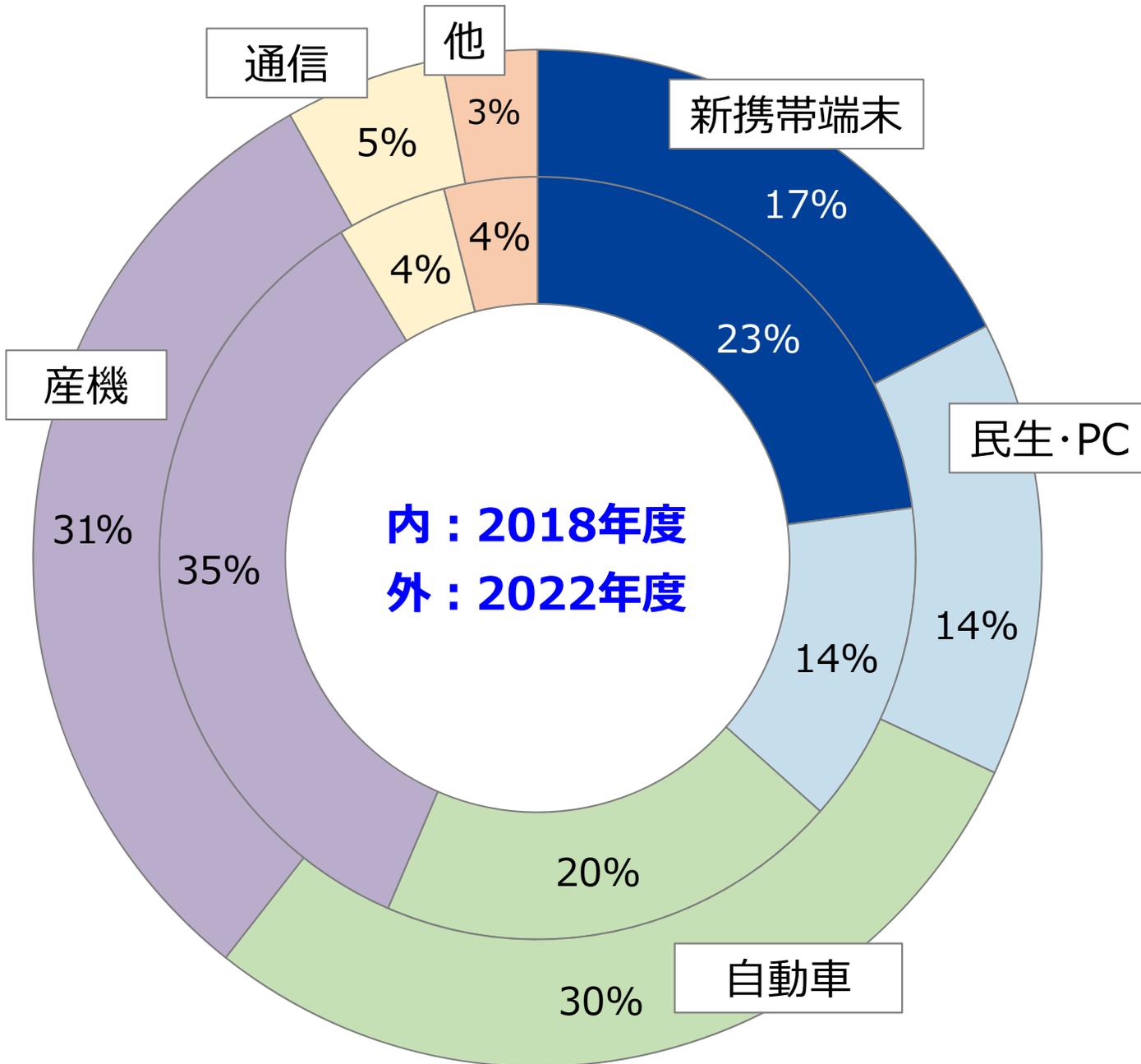
高収益経営を維持し、中長期的に力強い成長



2018年度 結果 : “後退”

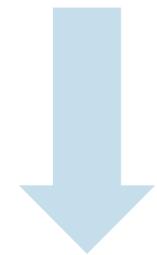
2019年度 以降 : ここを起点に 回復させる (再チャレンジ)

中期分野構成比イメージ



2018

スマホの明らかな成長鈍化と
新情報端末の拡充,
次世代(5G)への仕掛けを加速



2022

「スマホ・コンシューマ」
「車載」「産機・インフラ」
の3本柱での成長計画

➤ 『G-WING(中計)』達成へパワーUP、結果を出す

〈1〉モノづくり力

〈2〉技術開発力

〈3〉Global対応力・現地力

“進化”

- 「現場認識」と「先読み」を強化
力強い実行を加速させる1年とする。

モノづくり&機能強化 (1/2) <再掲+>

[2017年1月稼働]

ヒロセ コリア 精密コネクタセンター



» マイクロコネクタ の開発・生産を強化

2017年4月開設

横浜センター EMC試験室

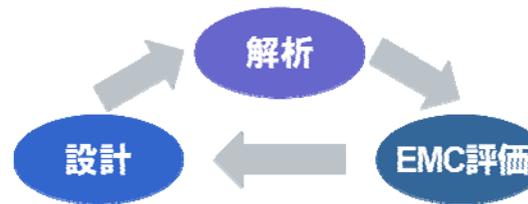


[2018年3月稼働]

一関工場〔新〕試験センター



» 試験装置エリアをこれまでの約3倍に増強



» "設計品質"と"開発スピード"の向上につなげる

- ✓ 試験対応能力の増強 (試験L/Tを短縮)
- ✓ 車載関連の試験設備拡充
- ✓ 試験所・校正機関の国際認証を各種取得

ISO/IEC 17025、ISO/IATF 16949、ISO 9001、ISO 14001

モノづくり&機能強化（2/2）〈再掲+〉

[2018年5月稼働]

宮古工場 精密金型棟



»マイクロコネクタの生産力強化

[2019年度稼働予定]

菊名事業所 金型センター



»車載・産機への取り組みを強化

[2018年9月稼働]

マレーシア工場 増築



»産機・高速系コネクタの生産強化

[2019年6月竣工予定]

中国 蘇州工場 増築



»車載向けコネクタの生産強化

独ハーディング社とイーサネット用ソリューション新たな協業

2016年、産業機器向け小型コネクタ新規格「ix Industrial」を共同開発
従来のRJ45に代わるFAネットワーク向けソリューション (小型・堅牢・高速伝送)

<従来品> RJ45



<新規格> ix Industrial



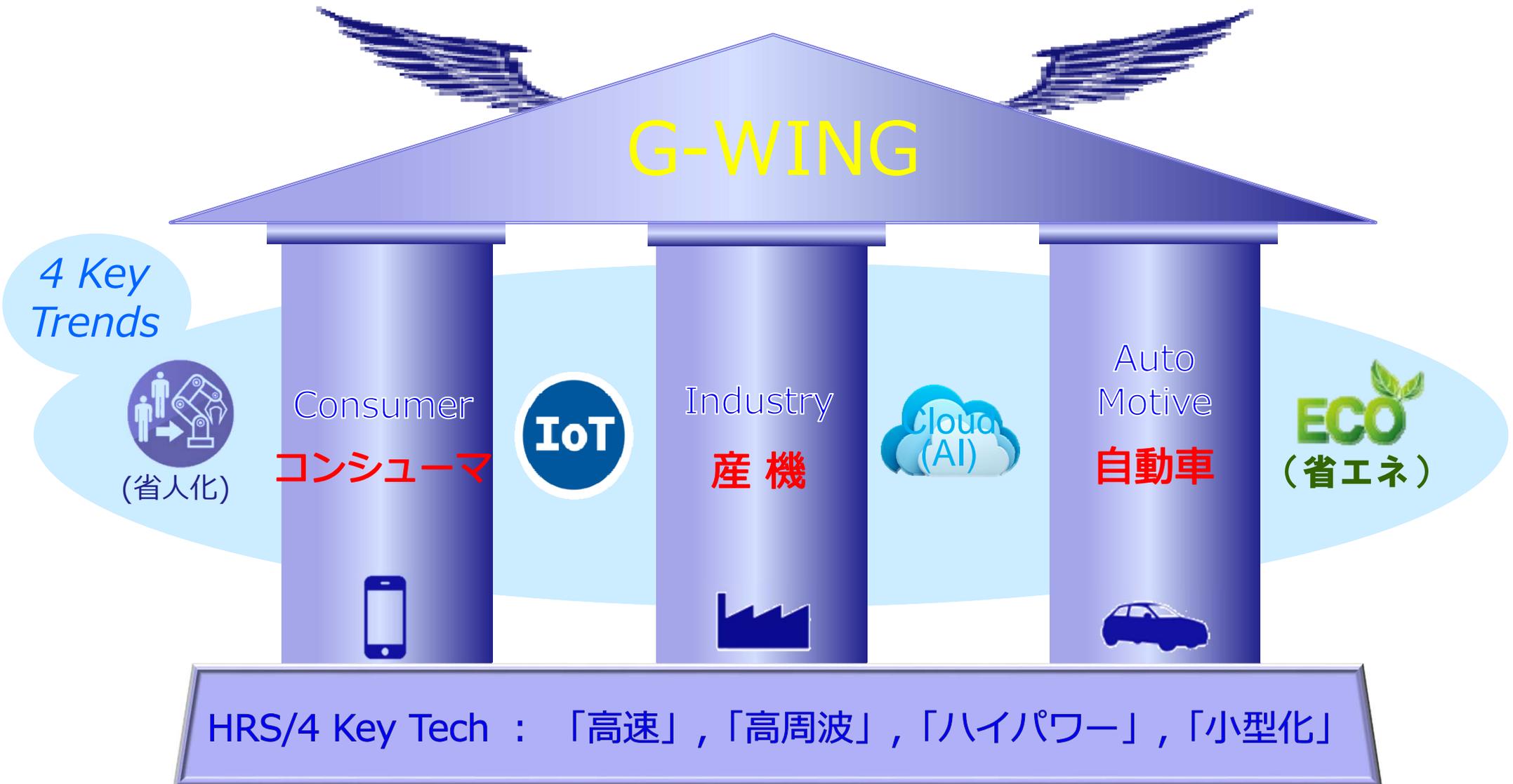
RJ45に比べ実装スペースを**70%削減**

2019年、産業機器向け「シングルペアイーサネット用コネクタ」共同開発に合意
産業用IoT向けソリューション (伝送距離が長く、最長で1kmの伝送が可能)

シングルペアイーサネット用コネクタ



HRS : 分野戦略イメージ 〈再掲+〉



“力強い3本柱” + “4 Key Tech” ⇒ 分野横断の提案力強化

ヒロセ技術展 〈 CONNECTION 2016 ⇒ 2019 〉

2016



2019

〔東京〕東京プリンスホテル 10月17日（木）～18日（金）
 〔大阪〕グランキューブ大阪 11月28日（木）～29日（金）にて開催予定

2016年の模様
 6500余名のご来場

皆様のお声を、未来プロダクトに展開してまいります。
 引き続きのご支援・ご協力 よろしくお願い申し上げます。